

# 会社説明会

【平成29年3月期決算説明】

2017年6月2日(金) 開催

於：日本証券アナリスト協会 平和ビル

見つめる先は、豊かな社会。

証券コード：4531（東証1部）



有機合成薬品工業株式会社

YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.



## 目次

- I. 会社概要
- II. 平成29年3月期決算概要
- III. 平成30年3月期業績予想
- IV. 中期経営計画進捗状況



# I . 会社概要

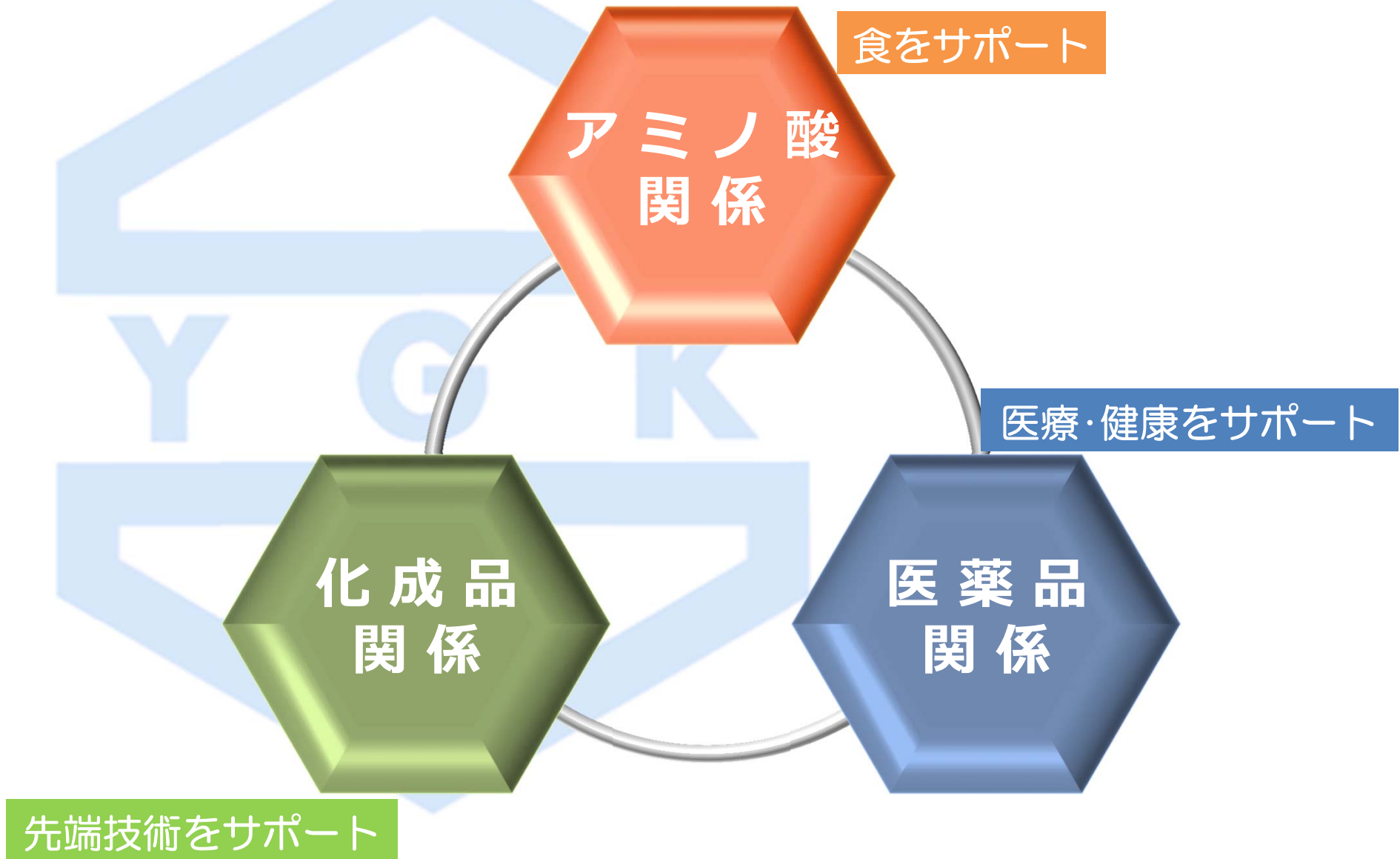
## 経営理念

私たちはファインケミカルに機軸を置き  
叡智と技術を結集した  
真の『ものづくり』に挑戦します

創業(昭和22年)以来、半世紀以上にわたり  
社会に貢献する化学製品を提供しております。

ファインケミカル…高純度に精製された単一の化学物質で、加工度が高く、多品種・少量生産で付加価値の高いものを指します。具体的には、医薬品、化粧品、塗料、インキ等があります。

『ものづくり』で人びとの快適な暮らしを支えます。



## アミノ酸関係

# 高品位なアミノ酸とビタミンで 食品分野をサポート



### 調味料用途

- ・漬物、カップラーメン等

### 日持ち向上用途

- ・おにぎり、お惣菜等

### 着色料と香料

- ・焼菓子、醤油、焼豚等

### サプリメント

- ・運動機能改善効果等

### 輸液

- ・点滴

### 制酸効果

- ・胃酸抑制



### 洗浄剤・メッキ

- ・研磨剤等

### 農薬向け用途

- ・ミネラル含有肥料等

### 動物向け用途

- ・ペットフード、  
畜産水産飼料等

アミノ酸…たんぱく質の主要な構成成分で、①味を作る、②体の栄養となる、③体の働きをサポートする等の機能があります。



化粧品関係

# 有機合成技術で電子産業や 農業分野の先端技術をサポート



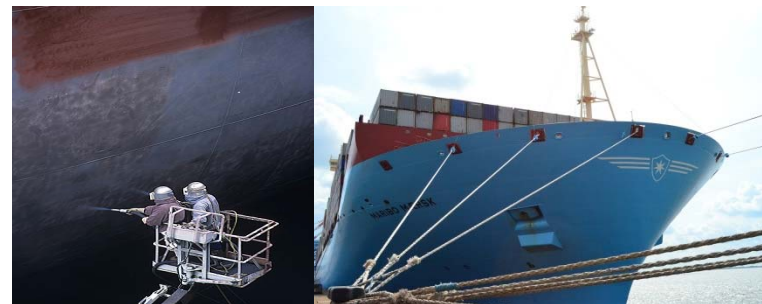
電子材料用表面処理剤

船底塗料用原料

農薬原料

タイヤコード接着剤用原料

ポリオレフィン触媒材料



## 医薬品関係

# 医薬品原薬・中間体で 人びとの健康をサポート



### 医薬品原薬

- ・抗ヘパリン原薬
- ・抗ウイルス原薬
- ・抗結核薬
- ・新薬原薬
- ・ジェネリック原薬



### 医薬品原料

- ・インシュリン製剤用原料

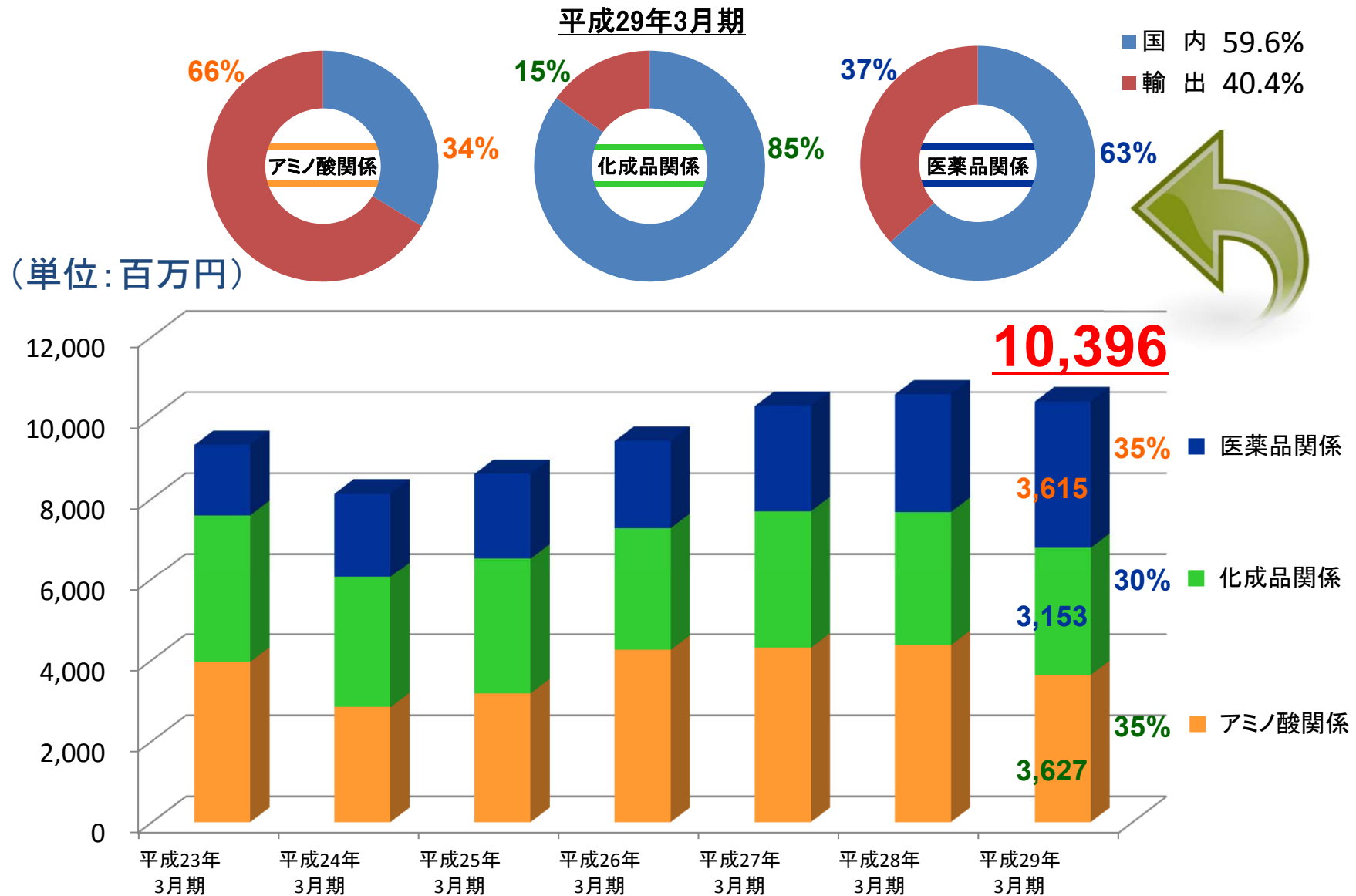
### 医薬品重要中間体

### 化粧品原体

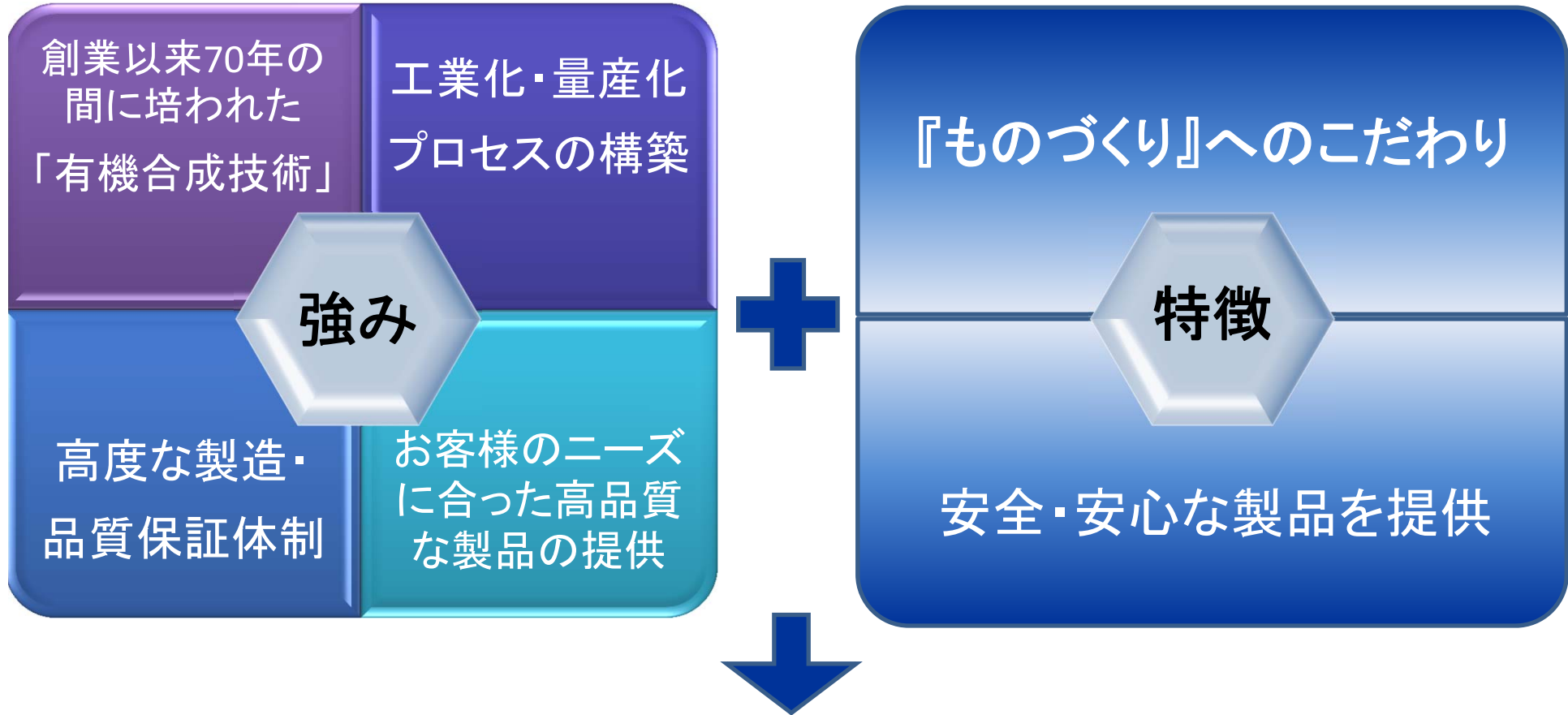
製剤…薬の有効成分を使いやすい形にしたものです。  
原薬…製剤に含まれる有効成分です。



## 製品区分別 売上高推移



**強み・特徴**



**ステークホルダーからの信頼を得る**

## Ⅱ. 平成29年3月期決算概要



## 平成29年3月期 前年度との比較

売上高は前期比180百万円の減収となりましたが、初めて3期連続で100億円を超える売り上げを達成しました。

〔単位:百万円〕	平成28年 3月期 (実績)	平成29年 3月期 (実績)	前期比		平成29年3月期	
			増減額	増減率	予想	達成率
売上高	10,576	10,396	▲180	▲1.7%	10,700	97.2%
売上総利益	2,254	2,272	18	0.8%	—	—
販売管理費	1,796	1,817	21	1.2%	—	—
営業利益	458	454	▲4	▲0.8%	500	90.9%
経常利益	465	411	▲54	▲11.5%	480	85.8%
純利益	350	355	5	1.3%	310	114.6%



## 平成29年3月期 前年度との比較

〔金額単位：百万円〕

	平成28年3月期		平成29年3月期			ポイント
	実績	資産比	実績	資産比	増減率	
資産合計	17,846	—	19,474	—	9.1%	
流動資産	8,443	47.3%	8,849	45.4%	4.8%	・売上債権増+501
固定資産	9,402	52.7%	10,625	54.6%	13.0%	・建設仮勘定+1,156
流動負債	4,066	22.8%	5,070	26.0%	24.7%	・短期借入金+1,000
固定負債	3,222	18.1%	3,488	17.9%	8.3%	・長期借入金+285
純資産	10,557	59.2%	10,916	56.1%	3.4%	・利益剰余金+142
R O A	2.6%	—	2.3%	—	—	

平成29年3月期 製品区分別売上実績

〔金額単位：百万円〕

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	前期比		ポイント
			増減額	増減率	
アミノ酸関係	4,361	3,627	▲734	▲16.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内堅調</li> <li>アミノ酸ビタミン原料の輸出販売が減少</li> </ul>
国内	1,212	1,221	+9	0.7%	
輸出	3,148	2,405	▲743	▲23.6%	
化成製品関係	3,304	3,153	▲151	▲4.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内販売は好調</li> <li>船底塗料用原料は国内外共に不調</li> </ul>
国内	2,456	2,681	+225	9.2%	
輸出	847	471	▲376	▲44.4%	
医薬品関係	2,910	3,615	+705	24.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>新薬原薬・新薬用中間体の販売が好調</li> </ul>
国内	2,072	2,289	+217	10.5%	
輸出	838	1,326	+488	58.2%	
合計	10,576	10,396	▲180		

## 平成29年3月期 投資計画と実績

[金額単位:百万円]

	平成28年 3月期 実績	平成29年3月期		ポイント
		計画	実績	
研究開発費	407	450	404	・主に医薬品関係の 製品開発に投資
設備投資額	1,035	1,160	1,893	・新規医薬品設備投 資に係る支払時期 が一部前倒し
減価償却費	519	650	632	・凡そ予定通り

## 新規医薬品設備投資

### 高品質な医薬品原薬の安定供給を目指して

#### 1. 目的

##### 医薬品事業の拡大

「ふくしま産業復興企業立地補助金」の指定を受けております。

#### 2. 設備概要

- ◆ 所在地 : 福島県いわき市
- ◆ 投資額 : 約34億円
- ◆ 建屋 : 鉄骨5階建て
- ◆ 着工 : 平成29年4月
- ◆ 竣工予定 : 平成30年3月
- ◆ 主要設備 : 反応槽  
遠心分離機  
乾燥機  
クリーンルーム

新設備イメージ図





## 平成29年3月期 新製品開発実績

### ジェネリック原薬

原薬名 (一般名)	薬効	承認時期	ポイント	国内市場規模 (製剤)
オルメサルタンメドキシミル	血圧降下剤	2017年	新規開発品	739億円(2015年)
デュロキセチン塩酸塩	抗うつ剤	2019年	新規開発品	304億円(2015年)
他 3品目に着手	—	2021年以降	新規開発品(グローバル品目)	—

### 新薬原薬

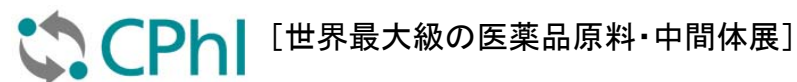
原薬名	先発メーカー	承認時期	ポイント
トリフルリジン	国内	2014年	抗がん剤向け原薬
新薬用原薬A	国内	2015年	グローバル展開
新薬用原薬B	国内	2018年(予定)	グローバル展開(米国等)

### 化成品・医薬原料

製品名	用途	承認時期	ポイント
添加剤A	ポリマー改質剤	未定	量産化プロセスの構築
ピリジン誘導体A	医薬原料	既上市品	量産化プロセスの構築 (グローバル展開)
PAA-MPN	医薬原料	2019年(予定)	量産化プロセスの構築、米国向け
(R)-キヌクリジノール	医薬原料など	2021年(予定)	量産化プロセスの構築

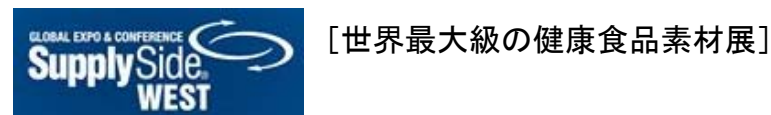
## 取り組み【トピックス】

### ◆出展活動



CPhI Japan (Tokyo)へ15年連続出展(東京ビッグサイト)


CPhI Worldwide 2014(Paris)・15(Madrid)・  
16(Barcelona)へ連続出展



SupplySideWest 2015・16(USA)へ連続出展

日本プロセス化学会サマーシンポジウム企業ブースへ  
2006年より連続出展

その他多数



## Ⅲ. 平成30年3月期業績予想



## 平成30年3月期の取り組み

基本方針	『世界で存在感のあるファインケミカル企業』を目指す ～「未来志向のものづくり」に挑戦～	
事業拡大への 取り組み	北米・欧州・アジア地区におけるアミノ酸関係の需要開拓・発掘 医薬品関係はジェネリック原薬・中間体原料・受託のバランスを取りながら最大化を図る	
将来の 収益源創出	設備 投資	来年3月竣工予定の新規医薬品設備を計画通り進め、次期、円滑な設備稼働ができるよう、万全を期する
	研究 開発	ジェネリック原薬開発を中心に、アミノ酸関係の用途拡大や省エネ(環境配慮)素材の原料開発に注力する。大学研究機関との連携も強める(オープンイノベーション)
経営基盤の強化	効率的な事業運営による収益の確保 継続的な経費削減による経営効率の向上 内部統制システムの充実	



## 業績予想の概要

新規医薬品設備投資(約34億円)に係る減価償却費及び当該設備稼働に伴う従業員確保に係る労務費増加により営業利益は前期比減少する見込み

〔単位:百万円〕	平成29年 3月期 (実績)	平成30年 3月期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	10,396	10,700	304	2.9%
営業利益	454	250	▲204	▲44.9%
経常利益	411	230	▲181	▲44.0%
純利益	355	160	▲195	▲54.9%
研究開発費	404	400	▲4	▲1.0%
設備投資額	1,893	3,100	1,207	63.8%
減価償却費	632	710	78	12.3%



## 業績予想 -製品区分別-

今年度完成予定の新規医薬品設備で、来年度以降の生産量及び売上高の拡大を目指す。

〔単位:百万円〕	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 目標	増減	ポイント
アミノ酸関係	3,627	3,965	338	・国内横ばい ・工業用途の需要増
国内	1,221	1,150	▲71	
輸出	2,405	2,815	410	
化成品関係	3,153	3,110	▲43	・特殊触媒好調 ・その他前期並み
国内	2,681	2,650	▲31	
輸出	471	460	▲11	
医薬品関係	3,615	3,625	10	・既存品は減少傾向 ・新薬は前期並み ・ジェネリック原薬増
国内	2,289	2,265	▲24	
輸出	1,326	1,360	34	
合計	10,396	10,700	304	



## 配当方針


当社は、経営基盤の強化に向けて内部留保の確保に努めつつ、事業環境や経営成績を総合的に勘案し、安定的に株主の皆様への利益還元を行うことを配当の基本方針としております。

・期末配当金推移						
平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
0.00円	3.00円	3.00円	5.00円	6.00円	6.00円	6.00円(予定)
・配当性向						単位：%
平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	
—	19.4	122.4	33.1	37.3	36.9	

## 株価推移

平成29年5月31日現在 終値268円

・株価推移(直近5年間)					単位：円
	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
最高	410	337	308	342	329
最低	175	249	236	226	212



# IV. 中期経営計画進捗状況 (平成28～30年度)



# ～『未来志向のものづくり』に挑戦～



新中期経営計画(平成28～30年度)

## 具体的取り組み

—基本方針—

「世界で存在感のあるファインケミカル創造企業」を目指す

●平成29年3月期(中計1年目)  
目標 107億円  
(実績:約104億円)

●平成30年3月期  
目標 107億円  
(中計では112億円)

### ①収益力改善

- ・グリシン、β-アラニンの  
アミノ酸事業を再生(再構築)
- ・グローバル展開による  
トップシェア維持・拡大

### ②新商品開発体制の強化

- ・新規医薬品設備の投資
- ・外部(官民)研究機関との協働

ヘルスケアビジネスに注力

平成31年3月期 目標

**125億円**

医薬品関係  
40億円以上

過去最高の売上高

平成28年3月期  
**105億円**

## 高品位アミノ酸でのトップシェア維持・拡大

現 状

- ・食品関連  
(調味・日持ち向上)
- ・医薬関連  
(輸液・サプリメント)
- ・工業薬品  
(研磨剤・飼料)

新規用途  
の開発

新規需要の  
開拓・発掘

将 来

価値最大化

## 医薬品関係開発計画

### 原薬



	原薬名	薬効	承認時期	ポイント
①	ドネペジル塩酸塩	抗アルツハイマー	2011年	新規顧客の開拓(拡販)
②	オルメサルタンメドキシミル	血圧降下剤	2017年	新規開発品
③	デュロキセチン塩酸塩	抗うつ剤	2019年	新規開発品
④	シナカルセト塩酸塩	副甲状腺機能亢進症	2021年	新規開発品
⑤	ジェネリック原薬A	—	2025年	グローバル展開
⑥	硫酸プロタミン	抗ヘパリン	既上市品	新規顧客の開拓(拡販)
⑦	イソニアジド	抗結核薬	既上市品	新規顧客の開拓(拡販)
⑧	トリフルリジン	抗がん剤	既上市品	注記*)ご参照

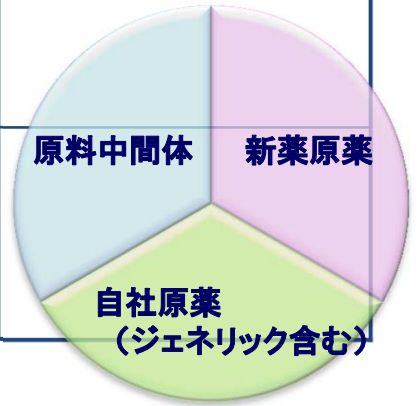
\* )当社が目薬用原薬として欧米各社に供給してきた、当社独自の原薬トリフルリジンが、製薬会社の抗がん剤用原薬として採用され、大幅に売上が伸長いたしました。引き続き、同社のグローバル戦略に協力して進めてまいります。

### 原料中間体

	製品名	用途	承認時期	ポイント
①	ピリジン誘導体A	医薬出発原料	2014年	量産化、グローバル展開
②	PAA-MPN	医薬出発原料	2019年	海外治験薬原料
③	(R)-キヌクリジノール	医薬出発原料	2021年	特許取得済、グローバル新商品
④	3-アミノキヌクリジン	医薬出発原料	未定	新規顧客の開拓(拡販)
⑤	4-ヒドロキシピペリジン	工業薬品、医薬出発原料	既上市品	新規顧客の開拓(拡販)

## 研究開発: 拡販・上市計画

	既上市品	2017年度	2018-19年度	2020年度以降
<div style="border: 1px solid #4F81BD; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">クロピドグレル硫酸塩 拡販</div> <div style="border: 1px solid #4F81BD; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #FFD1E6;">医薬品関係</div> <div style="border: 1px solid #4F81BD; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #FFD1E6;">新薬用原薬A 商用生産</div>	トリフルリジン グローバル対応	オルメサルタントキソミル 承認予定	デュロキセチン塩酸塩 承認予定	シナカルセト塩酸塩 量産化検討中
	ドネペジル塩酸塩 拡販		PAA-MPN (新薬用) 承認予定	ジェネリック原薬A ラボ検討中
	硫酸プロタミン 拡販		新薬用原薬B 承認予定	(R)-キヌクリジノール 量産化検討中 (特許取得済み)
	イソニアジド 拡販		3-アミノキヌクリジン 拡販	
	ピリジン誘導体A (新薬用) 拡販			
	4-ヒドロキシピペリジン 拡販			添加剤A (ポリマー用) 上市予定
<div style="border: 1px solid #4F81BD; padding: 5px; background-color: #D9F2D9;">その他</div>				



  : 自社原薬(ジェネリック原薬含む)
   : 新薬原薬
   : 原料中間体

バランスの取れた研究開発

## 数値目標

[金額単位:百万円]

	平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期 計画
	計画	実績	計画	業績予想	
売上高	10,700	10,396	11,200	10,700	12,500
営業利益	500	454	300	250	700
経常利益	480	411	280	230	680
当期純利益	310	355	160	160	420
ROA (%)	2.8	2.3	1.1	1.2	3.2

ROA(総資産営業利益率)…営業利益÷総資産額で算出しています。

## 投資計画

[金額単位:百万円]

	平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期 計 画
	計画	実績	計画	予想	
研究開発費	450	404	470	400	500
設備投資額	1,160	1,893	3,620	3,100	1,270
減価償却費	650	632	850	710	1,050

# ★2017年3月1日より、当社ホームページを全面リニューアルしました！



トップページ

5分で分かる“ユーキ”

事業内容

製品情報

グリシン百科

会社情報

ニュースリリース

株主・投資家情報

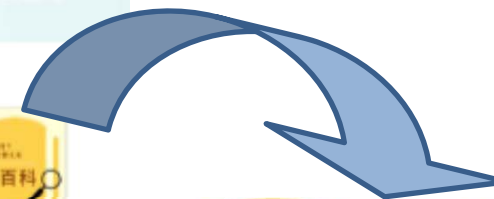
採用情報

お問い合わせ

サイトマップ

プライバシーポリシー

Japan | English



URL : <http://www.yuki-gosei.co.jp>





## 有機合成薬品工業株式会社 YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。  
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

### IRのお問い合わせ先

IR窓口：総務人事部長 渡部 浩  
電 話：03-3664-3980



# 参考資料

(会社概要)

## 会社概要

商号	有機合成薬品工業株式会社
設立	昭和22年(1947年)11月4日
事業所	本社・大阪営業所・東京研究所・常磐工場・デュッセルドルフ事務所
資本金	34億7千1百万円(発行済株式総数 21,974千株)
代表者	代表取締役社長執行役員 伊藤 和夫
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>• 有機合成製品および一般化学製品の製造ならびに販売</li><li>• 医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、食品、食品添加物、飼料、飼料添加物、農薬、工業薬品、香料、化粧品の製造ならびに販売</li><li>• 前各号に関連する原材料、製品の販売</li></ul>
従業員数	289名(平成28年3月31日現在)
証券取引所	東京証券取引所 市場第1部銘柄(平成16年9月より)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、常陽銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ銀行
関連会社	ユーキテクノサービス株式会社
ホームページ	<a href="http://www.yuki-gosei.co.jp/">http://www.yuki-gosei.co.jp/</a>